

失敗しない

Illustrator 出力講座

～ 8.0 から CS までの出力用ファイルを作成する～

上高地 仁

incunabula

第一章 Illustrator で出力するための基礎知識

1-01 Illustrator 出力での 2 つの方法 EPS と PDF	6
Illustrator 8.0 まででは EPS での出力が基本 軽くてデバイス・インディペンデントな PDF Illustrator 9.0 以降は PDF で保存しても出力できる	
1-02 バージョン違いでは開かないのが原則	10
互換性がなかったテキストエンジンは 8.0 以降統一された 同じバージョンで開くのが原則	
1-03 利用できるフォントとできないフォントを使い分ける	14
バージョンによって異なるフォントフォーマットの認識 フォーマットで変わる文字詰め処理 Adobe 独自のフォントフォルダにインストールする	
1-04 Windows の TrueType を Macintosh で使う	18
Windows の TrueType フォントを認識する Mac OS X アプリケーションサポートでも認識できる	
1-05 貼り込み画像のフォーマットはどれがいい	22
基本の Photoshop EPS での保存はどうする Illustrator で使う EPS 画像のメトリックとデメリット 実画像を扱うときは Photoshop 形式が最適 カラーマネージメントを行うのであれば PSD、そうでなければ EPS	
1-06 内部出力で利用するトンボと外部出力で使うトリムマークの違い	26
Separator や色分解設定で反映されるトンボ 8.0 からレジストレーションになったトリムマーク PDF ではアートサイズとして認識する Illustrator のトンボ	
1-07 Illustrator でのカラーマネージメントの仕組み	30
印刷用 CMYK が決まっていればカラー設定をオンにする 埋め込まれた ICC プロファイルは破棄して開く Illustrator 8.0 での CMYK 作業スペースの再現	
1-08 RIP に依存するオーバープリントの指定	36
ノッキングを回避するために墨ベタはオーバープリントする 墨ベタは出力前にオーバープリントできる トラッピングやスポットカラーは Illustrator でオーバープリントする	
1-09 透明効果は分割・統合しないと出力できない	40
PostScript では出力できない透明効果 透明効果に対応していない画像 スポットカラーに対応していない透明効果 書類設定で決まる透明の分割・統合 ドロップシャドウの品質は書類のラスターライズ効果で決まる デフォルトの「72ppi」では使えない 効果メニューによってアピアランスは影響を受ける	

まとめ：透明と書風のラスターライズ効果も基本がわかれば怖くない	56
---------------------------------	----

第二章 プリプレス出力用の EPS を作成する

2-01 Illustrator プリプレス出力の基本は EPS 保存	58
一回り大きいドキュメントサイズとトリムマーク EPS 出力ではバージョンによって RIP に依存する	
2-02 プリントフォントレスでフォントを言いで出力	62
8.0 まではアウトライン化し 9.0 以降は埋め込まれる	
2-03 リンク画像と埋め込み画像の違い	64
EPS のリンクは含んでもファイルを開くときに必要になる 埋め込み画像はすべてバイナリに変換される	
2-04 透明部分は分割・統合されて EPS 化される	66
透明効果があると EPS ファイルは二重構造になる 8.0 にダウンバージョンして保存する	
まとめ：RIP の対応バージョンに注意したい Illustrator EPS	68

第三章 プリプレス出力用の PDF を作成する

3-01 Illustrator での PDF 保存と Distiller 作成の違い	70
簡単だが詳細な設定ができない Illustrator の PDF 保存	
3-02 【ファイルの互換性】で変わる透明部分の分割処理	72
透明が分割される「Acrobat 4.0」互換での保存 「Acrobat 4.0」でのフォントアウトライン化とスポットカラーの変換 「Acrobat 5.0」で保存して Acrobat で透明を分割する	
3-03 編集機能を保持するとファイルサイズが大きくなる	78
編集機能を保持するとファイルは二重構造になる Acrobat 5.0 でも透明部分のアピアランスは分割される	
3-04 PDF 保存で埋め込む日本語フォントと欧文フォント	80
フォントフォーマットによって変わる外字の処理 欧文フォントはサブセットかフルセットかを選択できる	
3-05 ICC プロファイルは原則として埋め込まない	84
カラー設定がオンのとき埋め込まれる ICC プロファイル	
3-06 PDF 保存時にする画像のダウンサンプルとは	86
Illustrator にはないサンプリングしきい値 回転した画像とクリッピングパスでマスクした画像	
3-07 ファイルサイズを小さくする JPEG 圧縮をするために	92

「可逆圧縮」と「非可逆圧縮」の違いとは
Illustrator の JPEG での「最高(低圧縮率)」圧縮は使えない
Illustrator では「自動」は ZIP 圧縮になる

3-08 ドロップシャドウを使っているときは「ZIP」で圧縮する	96
「Acrobat 5.0」互換ではドロップシャドウは JPEG 圧縮できない ZIP で保存するか事前にドロップシャドウを分割する	
3-09 書簡モードに分割されるスポットカラー	98
「Acrobat 4.0」互換では透明の統合部分は CMYK になる ドロップシャドウは CMYK にしかならない ダブルトーンは埋め込むときに CMYK に変換される	
3-10 グラデーションはブレンドや画像に変換して出力する	104
スムーズシェーディングが出力できない RIP もある PDF にしてからグラデーションをブレンドや画像にする フチククリ文字はアウトライン化せず埋め込んで PDF 化する	
3-12 Illustrator の用紙サイズと PDF のドキュメントサイズ	108
PDF もアートボード内のオブジェクトのみが出力される 用紙設定を使用しなければ PDF のサイズを指定できる	
まとめ：軽い PDF を保存するにもポイントがある	110

第四章 Illustrator からプリントアウトする

4-01 Illustrator のプリントダイアログを開く	112
コンボジットでフォントをダウンロードする	
4-02 ハーフトーン情報を指定して出力する	114
色分解設定で Illustrator から分版する ライダープラグインでグレーのハーフトーンを指定する	
4-03 透明効果とオーバープリントは分割される	116
PostScript での出力では分割が必要な透明とオーバープリント	
4-04 プリントダイアログでするカラーマネージメント出力	118
カラー設定をオンにすれば可能なカラーマネージメント出力	
まとめ：プリント時にも透明とオーバープリントは分割される	120
検証環境について	121
あとがきにかえて	122
索引	124
奥付	127

第一章

Illustrator で出力するための基礎知識

- 1-01 Illustrator 出力での 2 つの方法 EPS と PDF
- 1-02 バージョン違いでは開かないのが原則
- 1-03 利用できるフォントとできないフォントを使い分ける
- 1-04 Windows の TrueType を Macintosh で使う
- 1-05 貼り込み画像のフォーマットはどれがいい
- 1-06 内部出力で利用するトンボと外部出力で使うトリムマークの違い
- 1-07 Illustrator でのカラーマネージメントの仕組み
- 1-08 RIP に依存するオーバープリントの指定
- 1-09 透明効果は分割・統合しないと出力できない
- 1-10 ドロップシャドウと書類のラスタライズ効果

失敗しない

Illustrator

出力講座

～ 8.0 から CS までの出力用ファイルを作成する～

第一章 Illustrator で出力するための基礎知識

1-01 Illustrator 出力での 2 つの方法 EPS と PDF

Illustrator 8.0 までは EPS での出力が基本

DTP で出力用にもっとも多く利用されているアプリケーションは、間違いなく Illustrator です。ページ数で考えればページレイアウトソフトの方が多かもしれませんが、出力されるファイルでいうと Illustrator のファイルが圧倒的に多いのではないで

Illustrator 8.0 のドキュメント



Illustrator のドキュメントは EPS であれ、PDF であれ、書類設定のアートボードサイズをドキュメントより大きくとり、その中にトリムマークを含めて保存する

QuarkXPress 3.3J に貼り込まれた IllustratorEPS



IllustratorEPS は QuarkXPress にそのまま貼り込んで出力することが多かった。ただし、フォントはアウトライン化しておかなければ、プリンタ常駐フォントが必要になる。また、原則としてすべてのデータは CMYK で作成する必要がある。Illustrator 8.0 では CMYK と RGB が併存できるので作成時に注意したい。

しょうか。

Illustrator で作成したファイルを出力するとき、従来は EPS 形式が一般的でした。もともと Illustrator は分版機能が安定しておらず、高解像度での出力では Illustrator から分版することはあまりありません。安定して高速に出力が可能だった QuarkXPress に貼り込んで出力するために、Illustrator は EPS 形式が推奨されました。

もちろんそれだけでなく、Illustrator はネイティブ形式で開くと、フォント環境が異なると文字送りが変わり出力結果が変わることもあります。EPS であれば、そのまま QuarkXPress に貼り込んで出力すればオリジナルのレイアウトは維持されます。そのために Illustrator は EPS 形式が標準となったのです。

Illustrator のバージョンが 8.0 までの場合は、EPS で保存して出力するのが基本です。EPS 形式の画像を貼り込み、画像を含んで EPS ファイルを作成します。ただし出稿時には、リンクした画像も同梱します。出力では使いませんが、データ内容を確認するためにファイルを開く必要があり、そのときにリンク画像が必要となります。

軽くてデバイス・インディペンデントな PDF

もう1つの方法は、PDFで保存して出力する方法です。Illustratorは7.0からPDFの書き出しができますが、7.0のPDF保存では日本語フォントは扱えません。8.0で日本語フォントが扱えるようになりましたが、日本語フォントの埋め込みができるようになるのは9.0以降です。

PDFにするメリットは画像もフォントも埋め込めば、イメージセッタやCTPの出力環境を気にする必要がないことです。Illustratorの場合は、フォントはアウトライン化し画像は埋め込んでしまえば、同じことです。フォントも画像も埋め込めば、Illustrator形式でもEPS形式でもレイアウトが変わることはありません。

しかし、Illustrator形式ではファイルサイズが肥大化します。すべての文字をアウトライン化すればファイルサイズは大きくなり、圧縮して貼り込んだ画像も圧縮しない形式に戻されます。

PDFで保存すれば、フォントは利用する字形のみの埋め込みになります。同じ字形がたくさん使っても、PDFに埋め込まれる字形は1つだけなのです。画像もJPEGやZIPで圧縮して埋め込むことができます。

Illustrator 9.0 以降は PDF で保存しても出力できる

Illustrator 8.0 までは EPS で保存する方が確実です。しかし 9.0 以降は、必ずしもそうとはいえないのです。というのは、RIP によっては、Illustrator の新しいバージョンの EPS に対応しているとは限らないからです。最近では 9.0 までは対応している RIP は少なくありませんが、10.0 には対応していない場合もあります。

もし新しい Illustrator のバージョンで作成したデータを出力する場合、RIP によって出力の可否を左右されるとしたら、新しいバージョンは使えないことになります。

Illustrator のネイティブバージョンの EPS が出力できない場合、PDF として保存する方が確実な場合があります。その場合は、RIP が PDF 出力に対応している必要がありますが、これから PDF のネイティブ出力に対応している RIP は増えることがあってもその逆はありません。既存の RIP が最新の Illustrator CS の EPS に対応できるように検証されることは、当分の間あまり期待できません。Illustrator CS では、PDF 化して出力するのが現実的な選択なのです。

Illustrator 9.0 で保存した PDF を Acrobat 6.0 で開く



PDF で保存すると、フォントも画像も埋め込むことができます。したがって RIP の出力環境に依存しないが、RIP のバージョンによっては PDF が正しく出力できない場合もある。また、9.0 や 10.0 では PDF の保存は注意が必要になる。なお、Acrobat 6.0 Professional から出力すれば、RIP のバージョンに依存しにくい出力ができる。

Illustrator で作成したデータは、Illustrator 8.0 までは Illustrator EPS 形式で、9.0 以降は PDF で保存するのが現実かもしれません。本書では、その仕組みをわかりやすく解説していきましょう。

第二章

プリプレス出力用の EPS を作成する

- 2-01 Illustrator 出力の基本は EPS 保存
- 2-02 プリントフォントレスでフォントを含んで出力
- 2-03 リンク画像と埋め込み画像の違い
- 2-04 透明部分は分割・統合されて EPS 化される

失敗しない

Illustrator

出力講座

～ 8.0 から CS までの出力用ファイルを作成する～

第二章 プリプレス出力用のEPSを作成する

2-01

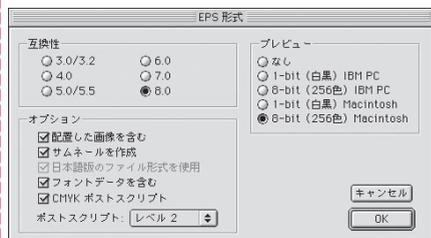
Illustrator プリプレス出力の基本は EPS 保存

一回り大きいドキュメントサイズとトリムマーク

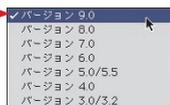
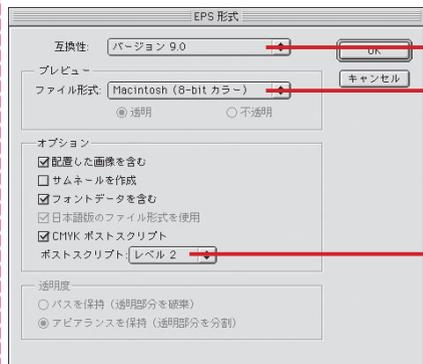
Illustrator のドキュメントを出力する場合、基本的には EPS 形式で保存します。Illustrator EPS は安定した出力が可能で、もつとも確実に出力することができます。Illustrator EPS は、そのまま QuarkXPress に貼り込んだり、Illustrator EPS のまま

Illustrator 8.0 と 9.0 の EPS 保存のダイアログ

Illustrator 8.0



Illustrator 9.0



8.0 と 9.0 では EPS 保存の設定はほとんど変わりはない。保存するバージョン (互換性) を指定し、プレビューとオプションを指定する。10.0 は 9.0 とほとんど同じ。なお、[CMYK ポストスクリプト] は RGB データを CMYK に変換するときを利用する。すべて CMYK で構成されている場合は関係ない。

Illustrator CS の EPS 保存のダイアログ



CS ではダウンバージョンの EPS ファイルは [データ書き出し] で行うので、EPS 保存時には指定できない。また、透明効果の分割・統合についても保存ダイアログから指定することが可能になっている。詳しくは『一目でわかる！ Illustrator CS 新機能ガイドンス（上高地仁著）』をご覧ください。

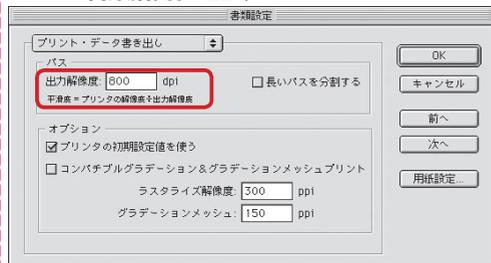
RIP のホットフォルダに放り込んで出力します。

ブリプレス用の Illustrator EPS 作成では、まず、仕上がりサイズに対してトリムマークを指定するということがあります。トリムマークはオブジェクトなので、QuarkXPress に貼り込んでも出力したときには印刷用のトンボになります。

また、ドキュメントサイズを仕上がりサイズより大きめに、トリムマークを含むすべてのオブジェクトがアートボード内に収まるようにします。アートボード外のオブジェクトは基本的に出力対象外になります。これはあくまで書類設定のサイズであり、用紙設定にあるプリンタの用紙サイズではありません。

なお、9.0 はマイナーアップデートする前のバージョンで、書類設定の「プリント・デー

9.0 では出力解像度に注意する



9.0 は 9.0.2 にアップデートして利用する。出力解像度が「800dpi」というのは、1 インチに対して、800の密度の線で曲線が形成されることをいう。通常は「800dpi」で問題ない。出力解像度が「100dpi」だと、プリントアウトした曲線ががたついて出力される。

タ書き出し」の出力解像度が「100dpi」になっていることがあります。基本は「800dpi」なので、9.0 は、9.0.2 にアップデートしておきます。9.0.2 であれば、出力解像度の正しいドキュメントになります。

EPS 出力ではバージョンによって RIP に依存する

EPS ファイルは、カプセル化された PostScript ファイルのことを言います。すこし乱暴ですが、簡単にいうと PostScript ファイルの大きさを指定してプレビューを付けることを可能にしたフォーマットとっていいでしょう。したがって、内部構造は PostScript ファイルです。

Illustrator はもともと PostScript 言語をベースに作られています。しかし Illustrator の機能のすべてが PostScript で表現できるとは限りません。透明効果のように PostScript で表現できないものもあるのです。

Illustrator に新しい機能が搭載されたとき、EPS 化するとそれらを PostScript 言語に変換しなければなりません。PostScript では PostScript オペレータと呼ばれる命令文を利用してイメージに変換します。しかし、同じイメージを表現するために、PostScript オペレータでは幾通りもの表現形式を持つことがあります。

Illustrator の新しいバージョンに搭載された新機能が、PostScript オペレータのどのような命令文で記述されるのかは、ニューバージョンがリリースされてみないとわからないことになります。

一方、出力側の RIP は PostScript 言語を解析してそれをイメージ化するようになっていますが、基本的には QuarkXPress や Illustrator のファイルに最適化されて処理されています。また、RIP を他社の RIP と差別化するために独自の機能が組み込まれていることも少なくありません。

こうした解析機能と RIP の独自機能によって、Illustrator EPS の出力が制限されることがあります。ニューバージョンの新機能が PostScript ファイル化されたとき、RIP で予想外の出力結果を生じることもあるのです。したがって、Illustrator EPS での出力では、RIP の対応バージョンの確認が必要です。

一般的に 8.0 は間違いなく対応しています。9.0 も出力可能な RIP が大半ですが、10.0 や CS には未対応の RIP は少なくありません。10.0 以降の新しいバージョンでは EPS ではなく PDF で保存するほうが確実でしょう。PDF は PostScript オペレータと

Illustrator のバージョンによる EPS と PDF の出力適性

Illustrator 8.0		◎	Illustrator 8.0 ではもともと安定した出力が期待できる。
		△	フォントが埋め込めないのでアウトライン化するかプリントフォントで出力する。
Illustrator 9.0		○	透明の分割・統合設定に注意して EPS 保存する。
		○	透明の分割設定に注意。Acrobat 4.0 互換で保存し、PDF 対応の RIP から出力。
Illustrator 10.0		△	RIP の対応を確認して、EPS で出稿する。
		○	Acrobat 4.0 互換で保存して、PDF 対応の RIP から出力する。
Illustrator CS		△	RIP の対応を確認して、EPS で出稿する。
		◎	9.0 や 10.0 より安定した PDF 作成可能。PDF 対応の RIP から出力

Illustrator は 9.0 までは EPS で出力可能だ。ただし、9.0 では透明の分割設定と書類のラスターライズ効果設定に注意したい。電子送稿を考えると、PDF で出稿する方がよいが、RIP の対応を確認しておく。

いう複雑な命令文ではなく、解析した描画形式をそのまま記述するので、Illustrator のバージョン違いによる出力トラブルはまずないと考えられます。9.0 までは EPS の方が確実ですが、RIP が PDF のネイティブ出力に対応していれば、9.0 以降は PDF 化の方が確実に出力できる場合もあります。バージョンと出力環境で使い分けるのが望ましいでしょう。

第三章

プリプレス出力用の PDF を作成する

- 3-01 Illustrator での PDF 保存と Distiller 作成の違い
- 3-02 [ファイルの互換性] で変わる透明部分分割の処理
- 3-03 編集機能を保持するとファイルサイズが大きくなる
- 3-04 PDF 保存で埋め込む日本語フォントと欧文フォント
- 3-05 ICC プロファイルは原則として埋め込まない
- 3-06 PDF 保存時にする画像のダウンサンプルとは
- 3-07 ファイルサイズを小さくする JPEG 圧縮をするために
- 3-08 ドロップシャドウを使っているときは「ZIP」で圧縮する
- 3-09 書類モードに分割されるスポットカラー
- 3-10 グラデーションはブレンドや画像に変換して出力する
- 3-11 フチククリ文字はアウトライン化しない
- 3-12 Illustrator の用紙サイズと PDF のドキュメントサイズ

失敗しない

Illustrator

出力講座

～ 8.0 から CS までの出力用ファイルを作成する～

第三章 プリプレス出力用の PDF を作成する

3-01

Illustrator である PDF 保存と Distiller 作成の違い

簡単だが詳細な設定ができない Illustrator の PDF 保存

Illustrator で PDF を作成する方法は、保存時に「Adobe PDF」を選択して PDF として保存する方法と、Illustrator から Distiller を使って PDF を作成する方法があります。Distiller で作成するときは、PostScript ファイルを書き出して Distiller を適用することもできますが、Illustrator EPS で保存したファイルを Distiller で PDF にすることも可能です。

単に PDF を作成するだけであれば、Illustrator で保存するのがもっと便利です。8.0 ではフォントの埋め込みができませんので、プリプレス出力用には向きません。9.0 以降ではフォントを埋め込むことができます。

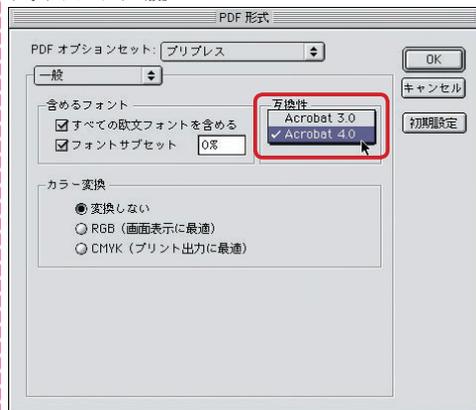
それ以外にも違いはあります。もっとも大きな違いは Illustrator 9.0 や 10.0 では PDF の仕様を詳細に指定できないことです。とりわけ、Illustrator で保存するとファイルサイズが大きくなります。これは Illustrator で再度開くためのデータが含まれているためです。Distill という言葉は「蒸留する」という意味があり、Distiller で PDF にすることで PDF の仕様に合致した純粋なデータに変換されますが、Illustrator の保存では、必ずしも PDF に必要ではない不純物が含まれているのです。もし PDF をネットワーク送稿するのであれば、Distiller で作成する方が確実です。

作り方によっては Illustrator で保存しても軽い PDF を作成することも可能ですが、同じドキュメントのサイズでは、Distiller で作成する方が、まず間違いなくファイルサイズは軽くなります。

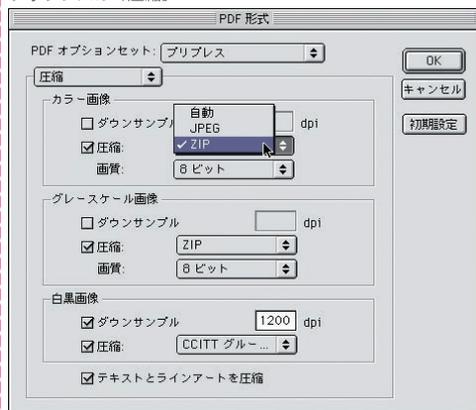
Illustrator CS は PDF 保存の機能が大幅に強化され、Distiller で可能な設定のほとんど全てとはいえませんが、InDesign 並みになっています。Illustrator CS ではファイルサイズを大幅に軽くすることが可能です。

Illustrator 8.0 の PDF 保存のダイアログ

プリプレスの「一般」



プリプレスの「圧縮」



Illustrator 8.0 では互換性で「Acrobat 3.0」と「Acrobat 4.0」しか選択できない。また、欧文フォントの埋め込みはできて、日本語フォントは埋め込めない。「圧縮」オプションは Illustrator 9.0 と同じダイアログになっている。

プリプレス出力用に Illustrator から PDF 保存するのであれば、Illustrator 9.0 以降を使いましょう。ただし、9.0 や 10.0 ではいくつかの注意点があります。それらを理解した上で PDF 保存することが必要です。

第四章

Illustrator からプリントアウトする

- 4-01 Illustrator のプリントダイアログを開く
- 4-02 ハーフトーン情報を指定して出力する
- 4-03 透明効果とオーバープリントは分割される
- 4-04 プリントダイアログでするカラーマネジメント出力

失敗しない

Illustrator

出力講座

～ 8.0 から CS までの出力用ファイルを作成する～

第4章 Illustrator からプリントアウトする

4-01 Illustrator の プリントダイアログを開く

コンポジットでフォントをダウンロードする

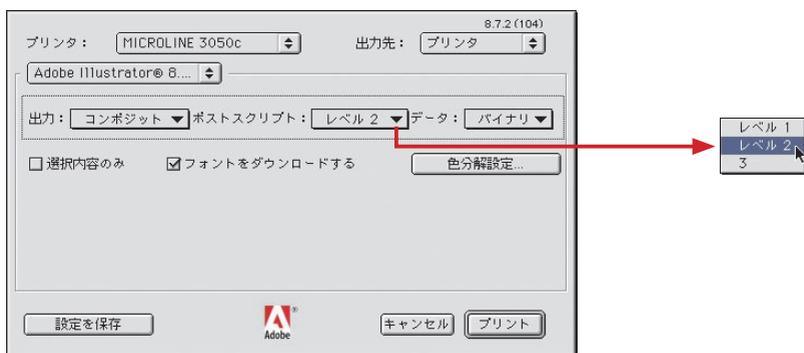
Illustrator からプリントする場合、いくつかの設定をプリントダイアログで行います。Illustrator 8.0 から 10.0 まではコンポジット出力するか分版出力するか、PostScript のレベルとデータ形式を指定します。

カラープリンタから出力するとき、[出力] は「コンポジット」にします。もう1つの選択肢である「分版」は [色分解設定] を指定したとき選択されます。

[フォントをダウンロードする] をチェックすると、ドキュメント内のフォントがプリンタにダウンロードされます。

8.0 では、アウトライン可能なフォントはアウトライン化されてプリントアウトされます。ビットマップフォントは画像化されて出力されます。9.0 以降は PDF のサブセット埋め

Illustrator 8.0 のプリントダイアログ



Illustrator 8.0 では [ポストスクリプト] で「レベル 1」を選択できる。ただし、「レベル 1」はカラーをサポートしていないので、どうしても古い「レベル 1」のプリントから出力する場合しか選択する意味はない。なお、データ形式は「バイナリ」でよい。

Illustrator 9.0 のプリントダイアログ



9.0や10.0では[ポストスクリプト]は「レベル2」もしくは「3」を選択する。「レベル2」のプリンタでは「レベル2」を、「3」では「レベル2」もしくは「3」を選択する。

込みの機能でプリントされますので、テキストは太りません。OCF フォントでも、ビットマップ化されますので、アウトライン可能なフォントであれば、プリンタ解像度で出力できます。

また、CS ではデフォルトでフォントをダウンロードするようになっており、「ダウンロードしない」という選択はできないようになっています。

検証環境について

「失敗しない Illustrator 出力講座」で検証した動作環境は下記の通りです。下記と同じ条件でも、別の要因で結果が変わることがありますので、ご了解ください。

■使用したマシン

PowerBook G4/677(DVI)

メモリ 768MB

Mac OS X 10.2.6/Mac OS 9.2.2

■検証に使用したアプリケーション

Illustrator 8.0.1 日本語版

Illustrator 9.0.2 日本語版

Illustrator 10.0.3 日本語版

Illustrator CS 日本語版

InDesign 2.0.2 日本語版

Photoshop 5.0J

Photoshop 7.0 日本語版

Acrobat 5.0.5 日本語版

Acrobat 6.0 Professional 日本語版

■出力に使用したプリンタ

OKI Microline 3050c

あとがきにかえて

私の DTP は Illustrator に始まった。DTP というのは、Illustrator で作成したデータを出力することだったのだ。むかし『Adobe Illustrator お茶の子サイサイ』という本を書いたとき——といっても、『Adobe Illustrator お茶の子サイサイ』は出版はできなかったが—— Illustrator の構造はシンプルだった。

Illustrator のデータを出力するには、Illustrator のデータをどのように作成するのかということより、Macintosh ハードウェア環境や OS 環境、フォント環境という外部要因を整備し、それらを理解して作成することのほうが重要だった。

しかし、Illustrator のバージョンが進化するとともに、Illustrator のデータ構造は複雑になった。とくに 9.0 に搭載された透明効果とその最たるものだろうか。Illustrator は 9.0 から内部構造が PDF になり、別のソフトといってもいいくらいに変貌した。

そのためかどうかは知らないが、9.0 以降はあまり利用されていない。もちろん、9.0 以降があまり使われない理由は、版下作成ソフトとしての機能のみを要求される Illustrator には、新機能は必ずしも必要ではないということもあるだろう。透明効果もドロップシャドウも版下を作成するだけであれば、使うことはないからである。

とはいえ、Illustrator を単なる版下ソフトに留めておくのはもったいないと私は思う。新しい機能を使いこなして、より表現力豊かなデータメイキングをして、さらに合理的・効率的に DTP するには新しいバージョンを使うほうがよい。

もちろん、DTP で使う以上、予想した出力結果が得られなければ意味がない。透明効果やドロップシャドウなどの書類のラスターライズ効果を使いつつ、正しく出力できなければ価値がない。Illustrator のスタンダードバージョンがいまだに 8.0 なのは、透明やドロップシャドウの出力結果が予想できないために、あたらしい機能を使って不要なトラブルに巻き込まれたくないということはある。

逆にいうと、新機能をどのように設定すればトラブルを回避できるということがわかれば、Illustrator の新しいバージョンは決して怖くないのだ。

本書は Illustrator からの出力をテーマに、8.0 から最新の CS までの機能を比較しつつ、出力に関する機能を整理したものだ。いままでの機能も新しい機能も含めて、バージョンを縦断して解説してある。出力にかかわる設定や使い方を理解してもらうことで、Illustrator から正しい出力を是非果たして欲しいからである。

ただし、9.0 や 10.0 では新機能の扱いにはいろいろ注意点がある。EPS 保存もそうだが、とりわけ、PDF 保存では予想しない結果になることが少なくない。知っている、簡単に回避できることだが、知らないと出力できない PDF になってしまう。

最新バージョンである Illustrator CS を使えば、こうしたバグと思われる問題の大半は解決していると思われる。私が知っている限り、9.0 や 10.0 での問題点は解決されている。しかし現実には、Illustrator CS は Mac OS X や Windows 2000 以降でないとは動作せず、OS 環境が限定される。8.0 のユーザーがすぐさま CS に移行できるわけではない。おそらく、9.0 や 10.0 をステップにして CS に移行するのではないかと思うのだ。幸か不幸か、Illustrator CS は新機能が多く搭載されているので、9.0 や 10.0 で追加された新機能は、CS を利用するまえに知っておいて欲しいのである。

新しいバージョンがリリースされるたびに、『Adobe Illustrator お茶の子サイサイ』を新バージョンに合わせて書き直そうと考えたのだが、結局果たすことができなかった。正直言うと、透明効果やドロップシャドウなどの書類のラスターライズ効果で理解できない部分がすくなくあつたからである。透明効果の分割・統合は、EPS 保存するときは書類設定に依存するが、PDF で保存するときは、透明処理の扱いが多岐にわたり、整理がしにくかつたのだ。

幸い、Acrobat 6.0 Professional がでて、PDF 内のさまざまな要素を調べることができるようになり、Illustrator で保存した PDF 内の透明の仕様が見えてきたのである。おそらく、Acrobat 6.0 Professional のプリフライト機能がなければ、本書はかけなかつたに違いない。

透明効果については、先に『本気でマスターする Illustrator 透明読本』という本で整理した。もし本書の内容と違いがあれば、本書の方が正確なはずである。透明の詳しい仕組みについては、『本気でマスターする Illustrator 透明読本』で詳説してある。さらに詳しく知りたい方は、そちらをご覧ください。

本書では、Illustrator の出力をテーマにしたとはいえ、より多くのページを Illustrator の PDF 保存に割いている。これからは Illustrator のドキュメントは、PDF 保存して出力されていくと考えるからである。Illustrator のさまざまな機能を使いつつ、予想した出力を果たすために本書がお役に立てば幸いである。(上高地 仁)

索引

アルファベット

A

Adobe Color Engine (ACE) 30

C

CID 番号 80

CMYK ポストスクリプト 58

D

DCS 43

Distiller 70,80,86

I

IBM 拡張文字 20

ICC プロファイル 25,31,84,119

Illustrator 7.0 8

Illustrator CS 8,43,73,86

Illustrator EPS 6,36,66

Illustrator PDF 6,70

Illustrator 編集機能を保持する 78

In-RIP Separation 114

J

JPEG 圧縮 22,65,92,96

JPEG エンコーディング 65,94

M

Mac OS X 14

O

OpenType 12,80

P

PDF1.4 77

Photoshop EPS 22,42,76,89

Photoshop 形式 (PSD) 24,42,89

PostScript 60,116

PostScript OCF 14

Q

QuarkXPress 7,27,36,58

QuickDraw プリンタ 24

R

RIP 8,39,60,72,77,85

S

Separator 27

sfnt 10

SBX 10,15

T

TrueType 18,60

W

Windows 14

Z

ZIP 圧縮 94,96



あ

アートサイズ	29,109
アウトライン化	46,62,73,82,106,112
アップデート	13
アピランスを分割	50,79
アプリケーションサポート	17,19
色分解設定	39,114
オーバープリント	28,36,40,75,89,114,117
オプティカルカーニング	11,16

か

カラー設定	30,84,118
カラーマネージメント出力	118
禁則処理	10
グラデーション	42,104
クリッピングパス	89
コンジョイント出力	112

さ

作業用スペース	30
サブセット	63,82,112
サンプリングしきい値	86
書類設定	45,59,66,108
書類のラスタライズ効果設定	48,96,116
スムーズシェーディング	104
スポットカラー	28,39,43,75,98

た

ダウンバージョン	59,67
ダブルトーン画像	43,102
テキストエンジン	10

抽出	65
透明効果	40,66,72,97,98,116
ドキュメントサイズ	58,108
トリムマーク	26,59
ドロップシャドウ	43,48,77,79,96
トンボ	26

な

ノッキング	36
-------	----

は

ビットマップフォント	74
ファイルの互換性	72
フォントデータを含む	62,67
フォントフォーマット	14,80
フォントをダウンロードする	112
フチククリ文字	106
プリンタ常駐フォント	62
ブレンド	105
プロファイルの不一致	33
分割・統合	40,72,79,117
ほかし(ガウス)	54

も

メトリクスカーニング	16
文字詰め	10,14

ら

ライダープラグイン	115
ラスタライズ/ベクトルの設定	46
リンク画像	7,42,64
レジストレーションカラー	29

incunabula で



LETS

Leading Edge Type Solution

を お申し込みされる方に

フォントワークスジャパンの包括的フォントサポートプログラム『LETS』へのご入会は、いずれの販売代理店からご入会いただくことができますが、インクナブラよりお申し込みいただくと、フォントワークスジャパンのサポート以外にさまざまな特典があります。

● DTP-S 倶楽部にそのまま入会 ●

DTP-S 倶楽部は、上高地仁の DTP-S 内にある会員制の情報サイトです。DTP の関する新しい話題や Tips など、いち早くお届けする有料のコンテンツサービスです。DTP-S 倶楽部にご入会いただくと下記のような特典があります。この DTP-S 倶楽部は有料の会員制を取っていますが、インクナブラより『LETS』にお申し込みいただくと、LETS 入会期間が同時に DTP-S 倶楽部への入会になります。

会員のみがアクセスできる Web でのコンテンツ	メールマガジン「DTP-S 倶楽部 BCC マガジン」の配信	ペーパーマガジン誌 『DTP オカジオネル』の配布	インクナブラ発行の書籍や 素材集のご優待
会員のみがアクセスできるページを用意しています。一般に公開されないコンテンツがアップされています。また、会員のみがダウンロード可能な PDF などのコンテンツも用意しています。	「DTP-S 倶楽部 BCC マガジン」は、インクナブラより書籍化されるコンテンツや DTP 倶楽部のみの記事をメールマガジンで配信します。表の DTP-S では書けない話題もあります。	Web ページやメールマガジンに掲載したコンテンツをペーパーマガジンとしてお届けするものです。『DTP オカジオネル』の一部は、DTP-S よりフリーコンテンツとして配布されますが、完全版を手にとってごらん戴けます。予定では隔月もしくは季刊程度で配布します。	DTP-S 倶楽部にご入会いただくと、インクナブラ発行の書籍・素材集・ソフトなどがご優待価格でお申し込みいただけます。また、インクナブラ主催のセミナーにもご優待価格で参加していただけます。

● ご入会方法 ●

■すでに LETS の見積りをされた方

LETS の見積りをされ、お申し込みされるだけになっている場合は、「LETS 見積書兼申込書」をインクナブラまでお送りください。また同時に、ライセンス契約書をフォントワークスジャパンにお送りください。フォントをより早くお使いになりたいときは、「LETS 見積書兼申込書」を先に FAX いただくと、製品をお届けするのがより早くなります。

■ LETS エントリーバックをお持ちの方

エントリーバックをお持ちの場合は、「LETS 見積依頼書」に必要事項をご記入の上、インクナブラもしくはフォントワークスジャパンまで FAX してください。折り返し、お見積りの内容とライセンス契約書をお届けいたします。すでにエントリーバックをお持ちの場合は、ライセンス契約時には入会金は不要です。

■これから LETS の見積りをされる方

いまから LETS に入会される場合は、ライセンス使用料以外に入会金 (30,000 円) が必要となります。お急ぎの場合は「LETS 見積依頼書」をインクナブラまでお送りください。もし、多少時間があるのであれば、エントリーバックをお買い上げいただき、そのシリアル番号を「LETS 見積依頼書」にご記入いただくと、入会金は不要になります。インクナブラで LETS エントリーバックをお申し込みいただくと、インクナブラの書籍を一冊プレゼントいたします。

■すでに LETS に入会されている方

すでに LETS に入会されていても、年ごとの更新時に販売会社を変更することができます。更新時にインクナブラで更新していただくことで、インクナブラの特典が受けられます。詳しくはインクナブラまでお問い合わせ下さい。

お問い合わせ 〒540-0025 大阪市中央区徳井町2-2-11 LM東本町第三 405 TEL 06-6966-4468
FAX 06-6966-4469 <http://www.incunabula.co.jp> E-mail: incun@incunabula.co.jp

使用したフォント

FOT- 筑紫明朝 Pro

FOT- 筑紫 A 見出ミン Std

FOT- マティス Pro

FOT- ロダン Pro

FW- ニューロダン Pro

失敗しない Illustrator 出力講座

発行 2004年4月15日 初版発行

著者 上高地 仁

発行人 田中 清

発行所 有限会社 インクナブラ

〒540-0025 大阪市中央区徳井町 2-2-11 LM 東本町第三 405 号

TEL:06-6966-4468

FAX:06-6966-4469

製本 石川特殊特急製本株式会社

©2004 by Jin Kamikochi

本書の内容の一部もしくは全部を著作権法の定める範囲を超え、有限会社インクナブラおよび著者に無断で複製、複写、転載することはご遠慮下さい。

本書の内容に関するお問い合わせもしくは質問は、Eメール（incun@incunabula.co.jp）もしくは文書で、小社までお問い合わせください。

■本書のサポート情報は

<http://www.incunabula.co.jp/shoseki/ILLSHUTU> でアクセスいただけます。

アクセスするには下記のパスワードが必要です。

ユーザー ID ILLSHUTU

パスワード ap2if7jf

※ Web でのサポートは本書の最終発行日から 1 年といたします。

本書は Mac OS X 10.3 環境の InDesign CS でレイアウトしたものを、データ書き出しで PDF 化したものです。その PDF を InDesign に貼り込み、さらに PDF 化して印刷したものです。

インクナブラの書籍について

インクナブラでは、従来の出版の枠を越えて、少部数で書籍を発行する方法を模索してきました。既存の書籍流通では、大手の出版社と書籍流通の間で書籍を発行する流れができ上がっています。しかし、その仕組みの中では発行できないが、書籍にしたいものが多くあります。

読者の興味はパーソナライズされ、より詳しく専門的な知識を要求するようになってきています。書籍の内容が専門的になるにつれ、その書籍を必要とする読者の数は少なくなります。書籍が少部数化する流れはこれからも変わっていかないでしょう。

そうした中で、個人の持つ情報はインターネットを通じて広く公開され、専門的な情報といえども、インターネットを通じて手に入れることができるようになってきました。

しかし、インターネットでは情報のプライオリティが明確ではなく、また、整理され分かりやすい情報になっているのかというと、必ずしもそうではないでしょう。

的確に情報を伝達するには、やはりまだまだ「紙」というメディアの方が分かりやすく理解しやすいのではないのでしょうか。そのためには、今までとは異なった方法で書籍を発行することしかありません。

従来の書籍発行の枠を越えて、さらに少部数で発行することができれば、出版のあり方も変わってくるでしょう。しかしだからといって、書籍をオンデマンドで発行することを読者が望んでいるわけではありません。いままでと同じような書籍として形で発行しながらも、少部数に対応した出版こそが求められているように思います。

インクナブラでは、少部数の読者ニーズに応えるために、さまざまな方法で書籍を制作し発行しています。少部数に対応するために、従来の書籍と比較してページ数が少なかったりします。しかし、300ページある書籍でも必要な個所はたったの10ページであることも少なくありません。必要なページがたった10ページであれば、総ページ数が300ページであっても100ページであっても、読者にとってはそれほどの違いはないのではないのでしょうか。

皆さんが手にしたこの書籍のうちの数ページでも、皆さんにとって必要かつ有用な情報であることを望んでいます。

インクナブラ代表 上高地仁